

第2号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）  
事業計画（変更計画）書

平成26年4月18日

一部修正 平成26年5月30日

1 実施主体

NPO法人等 (実施主体)	種別及び名称	特定非営利活動法人 野馬土		
	住所	相馬市石上字南白髭 320		
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称	特定非営利活動法人 野馬土	担当者名	熊谷公智
	住所	相馬市石上字南白髭 320	電話番号	0244-26-8437

2 事業概要

事業名	6号線の既設フリースペース（カフェ野馬土）を活用した地域活性化事業
総事業費	2,921,000円（うち希望補助金額2,336,000円）
事業の実施期間	平成26年6月1日から平成27年3月31日まで

注：補助対象期間は補助金の交付決定日からとなります。

3 事業計画

地域における課題と事業の目的	大震災から3年以上過ぎても原発事故による放射能・汚染水などに対する不安はなくなり、津波被害の復旧、復興も思うように進んではいけません。また被災地域ごとに異なる補償など、新たな課題も増大しているように見られます。この状況のなか、住民たちがいつでも集い会話ができて、誰もが不安を払しょくできる“場づくり”の必要性がますます高まって。さらに、世界や日本全国からの支援を継続して得られるよう、現状を知らせる取組も必要です。私たちの6号線沿いに建つフリースペース（カフェ野馬土）を復興の拠点として活用し、地域の人たちが交流し世界へ情報発信することにより、この地域の課題を解決し活性化する支援を行っていきます。
事業の目標	◎地域の住民の年間利用1,200人。 ◎県外からの支援者、視察1,500人。
事業内容	① 個人、団体への貸スペース事業。 ② 地域内外の交流を目的に学習会を開催。（他の地元NPOとも連携） ③ ここを拠点に福島第一原発20km圏内を案内するツアーを実施。 ④ 浜通りの観光情報コーナー設置。 ⑤ Café利用者をコラボレートした情報発信イベントの開催。
見込まれる成果	1. 本県の復興支援・被災者支援の観点 ① 地域の人々の活動の活性化を支援。 ② 地域の交流促進と自主活動のきっかけづくり。 ③ 地域外の人に浜通りの現状を肌で感じていただく機会を増やす。 ④ 観光客を増やすことにより多面的な経済効果を生み出せる。

2. 取組実施主体の運営力強化の観点	◎利用者の生の声に触れることにより地域の課題をリアルに把握でき、より効果的な地域サポートを展開可能になる。◎地域の商店、宿泊施設と日常的に連携し、また、県外から訪れた方に地域の商店、宿泊施設を紹介することにより地域経済の活性化に寄与できる。
事業スケジュール	<p>&lt;日常の活動&gt;</p> <p>◎スペースレンタル事業。◎飲み物、軽食、弁当等の提供。</p> <p>&lt;交流イベント予定&gt;</p> <p>①7月27日 地域と世界を結ぶ「野馬土」夏まつり</p> <p>②11月15日「野馬土」感謝祭</p> <p>③地元食材を使う食を通じたコミュニティづくり講習会（4回開催）</p> <p>&lt;福島第一原発 20km 圏内ツアー&gt;</p> <p>◎毎月 2～3 団体</p>
事業実施体制	代表理事杉和昌、三浦広志を中心に理事会の 11 名が実施。昨期コラボした NPO 団体とも継続して連携し、提携 NPO 団体をさらに増やし活動を行う。
事業の先進性・普及性	◎住民の自主活動を、ハード（場所）とソフト（助言や事務サポート）の両面から支援する。◎日常的に連携して活動する特定非営利活動法人有形デザイン機構、浜通り農産物供給センター、浜通り農民連が持つ全国ネットワークを活用できる。◎昨期のきずな事業で広がった県内外 NPO とのネットワークを活用して多様な情報発信、支援要請等ができる。
特記事項	☆昨年度活動の後半から、カフェ利用者が増加しており、継続した活動でさらに発展させていきたい。県外からの 20km 圏内ツアー参加者にはリピーターも多く、さらに交流を深め、浜通りの現状を広く知っていただくべく情報発信していきたい。

第3号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）  
収 支 予 算 書

申請者名 特定非営利活動法人「野馬土」

【収入の部】

（単位：千円）

区 分	平成26年度予算額	明 細
ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金	2,336	
事業収入	111	貸出費用 350円×3時間×106日
その他収入	474	
飲み物、軽食提供	348	週 8,700円×4週×10カ月（6～3月）
20km圏内ツアー昼食	126	1食 700円×30食×6カ月（6月～11月）
収 入 合 計	2,921	

【支出の部】

（単位：千円）

区 分	平成26年度予算額	明 細
人件費（共済費含む）	1,334	常駐職員9か月分
報償費	180	①イベント出演者：9,000円/人×6人=54,000円 ②イベント出演者：9,000円/人×6人=54,000円 ③食の講師：9,000円/人×8人=72,000円
旅費	663	<交通費> ①イベント出演者：19,060円※/人×6人=114,360円 ②イベント出演者：19,060円/人×6人=114,360円 ③食の講師：19,060円/人×9人=171,540円 ※東京～福島～相馬をJRと福島交通で往復 (8,430+1,100円)×2=19,060円      計 400,260円 <宿泊費> ①イベント出演者：7,300円※※/人×6泊=43,800円 ②イベント出演者：7,300円/人×6泊=43,800円 ③食の講師：7,300円/人×24泊=175,200円 ※※別紙ホテル資料添付      計 262,800円
使用料	456	プロジェクタ+ワイヤレスマイク+スピーカー109,000円×3回=327,000円    ステージ音響機材一式 64,800円×2=129,600円

使用料	456	プロジェクタ+ワイヤレスマイク+スピーカー109,000 円×3 回 = <u>327,000 円</u> ステージ音響機材一式 64,800 円×2 = <u>129,600 円</u>
役務費	288	
通信運搬費	288	宣伝費 新聞折込代 36,000 (※1) ×8回 = <u>288,000 円</u> ※1) 相馬新地の3販売店に依頼の場合。領収書を添付。
支出合計	2,921	